

No.85 平成19年11月22日 情報教育アドバイザー 広田 さち子

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より パソコン室から 不定期 発行

F2+-

これは、「文字列の編集」キーです。

どんな場合に使うかと言えば、

・ファイル名の変更

・エクセルでの、セル内容の書き換え

が主な使い方です。

何だ、二つしかないのか、と思われるかもしれませんが、この一つ目、「<u>ファイル名の変更」</u>は、 実は多くの場所で有効なのです。

どんな場所かと言えば、「開く」とか「名前をつけて保存」といった、ファイル名が一覧になった 場所です。

このダイアログボックスは、<u>エクスプローラ</u>(基本的には、マイドキュメントやマイコンピュータと 同じアプリケーション)を使っているので、

・名前の変更

・新しいフォルダの作成

・ファイルの削除

・ファイルのコピー、切り取り、貼り付け

等の、様々なファイル操作が可能です。

一つ、便利な使い方をご紹介します。

たとえば、新しい文書を作って保存したとたん、ファイル名を変えたらよかったことに気がついたとします。

そのとき、改めてマイコンピュータなどから、ファイルの入ったフォルダを探して、ファイル名を 右クリック、「名前の変更」からファイル名を変更、というのは少々面倒です。

このとき、次のようにすると楽にファイル名を変更できます。

まず、保存した画面で、右上の「閉じる」の下、小さめの黒い「×」印をクリックしてファイルの画 面だけを閉じます。これは、ファイルを開いた状態では名前の変更ができないためです。

次に、「開く」。こうすると、直前に使ったフォルダが開かれます。つまり、保存したファイルが置 かれている場所です。ここで、名前を変えたいファイル名をクリック(ダブルクリックではなく)して 選択したら、F2キーを押して、名前を変えます。このとき、ファイル名の後ろに「.」に続いて、jtd とか、docとか、xlsなどとあるのは、ファイルの種類を示す記号ですから、これを変えてはいけま せん。「.」の前だけ変更します。変更したら、Enter キーを押して「確定」します。ここでもう一度 Enter キーを押せば、名前が変更された元のファイルを開くことができます。